

9 ・ TeraTerm から VM にアクセスする

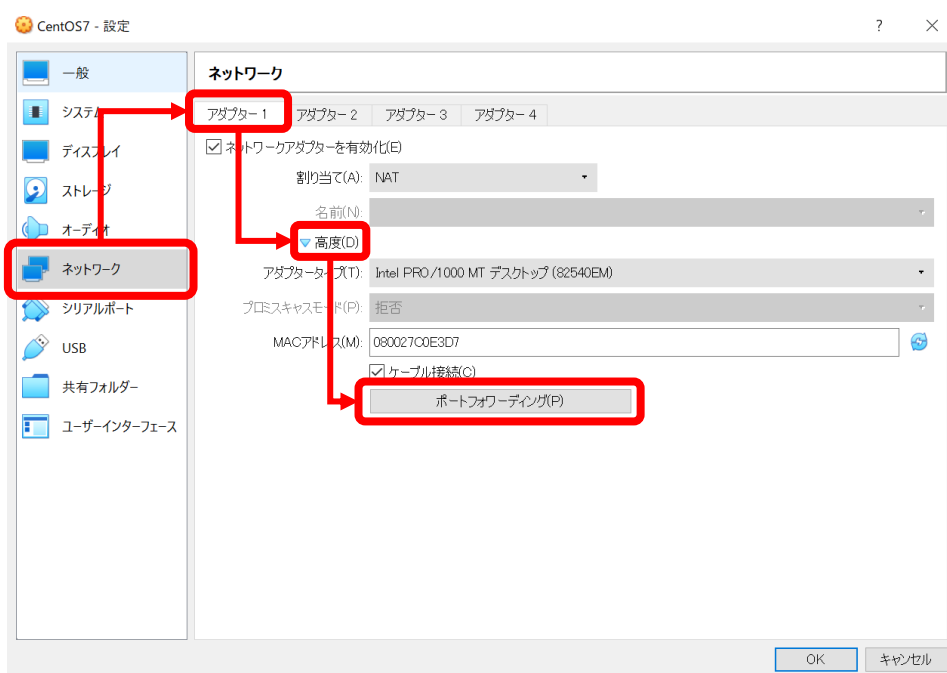
ホストの Tera Term からゲルトの CentOS を操作できるようにし、ファイルを転送する

1. VM 側のネットワークを設定し接続する

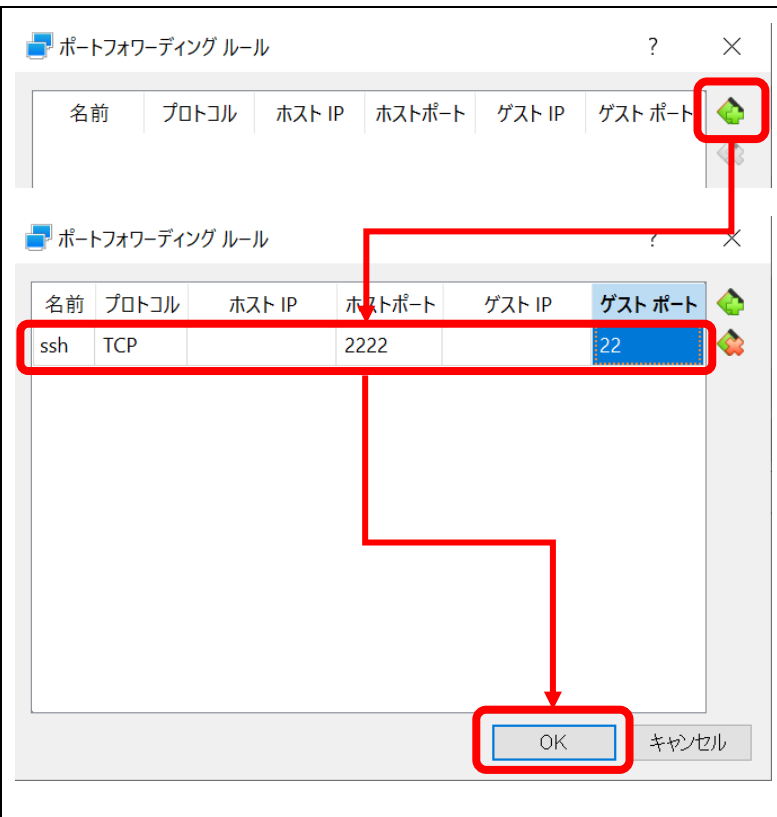
1 ・ VirtualBox を起動し、設定をクリック



2 ・ 「ネットワーク」 → 「アダプター1」 → 「高度」 → 「ポートフォワーディング」を選択



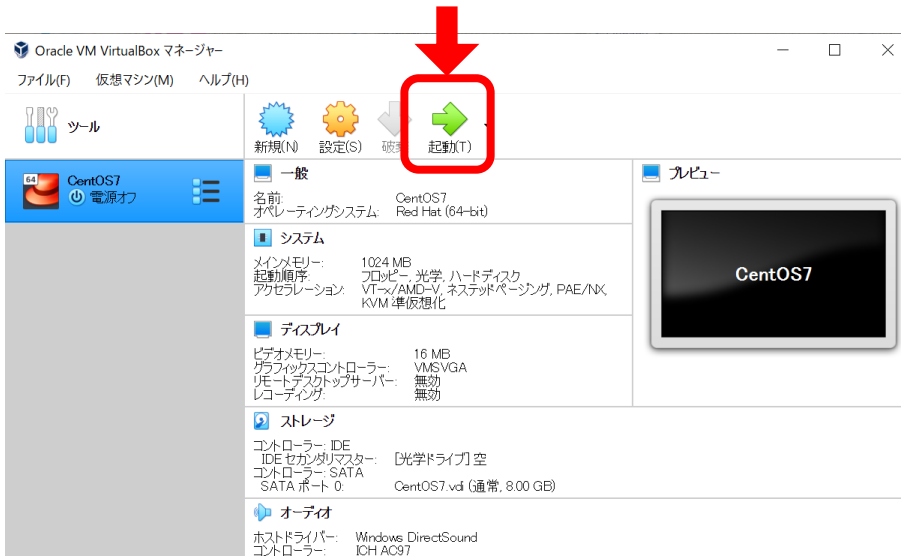
3・右上のルールの追加アイコンをクリックして、ルールを追加する



名前	ssh
プロトコル	TCP
ホストポート	2222
ゲストポート	22

プロトコル以外は任意だが、今回は上記で追加

4・トップに戻って起動する



Oracle VM VirtualBox マネージャー
ファイル(F) 仮想マシン(M) ヘルプ(H)

ツール

新規(N) 設定(S) 破産 起動(T)

CentOS7
 電源オフ

一般
 名前: CentOS7
 オペレーティングシステム: Red Hat (64-bit)

システム
 メインメモリ: 1024 MB
 起動順序: フロッピー、光学、ハードディスク
 アクセラレーション: VT-x/AMD-V、ネステッドページング、PAE/NX、KVM 準仮想化


ディスプレイ
 ビデオメモリ: 16 MB
 グラフィックスコントローラー: VMSVGA
 リモートデスクトップサーバー: 無効
 レコーディング: 無効

ストレージ
 コントローラー: IDE
 IDE セカンダリ マスター: [光学ドライブ] 空
 コントローラー: SATA
 SATA ポート 0: CentOS7.vdi (通常, 8.00 GB)

オーディオ
 ホストドライバ: Windows DirectSound
 コントローラー: ICH AC97

プレビュー
 CentOS7

5・ログイン画面

 CentOS7 [実行中] - Oracle VM VirtualBox

ファイル 仮想マシン 表示 入力 デバイス ヘルプ

```
CentOS Linux 7 (Core)
Kernel 3.10.0-1160.el7.x86_64 on an x86_64

localhost login:
```

6・root でログインする

```
CentOS Linux 7 (Core)
Kernel 3.10.0-1160.el7.x86_64 on an x86_64
```

```
localhost login: root
Password:
```

```
CentOS Linux 7 (Core)
Kernel 3.10.0-1160.el7.x86_64 on an x86_64
```

```
localhost login: root
Password:
[root@localhost ~]#
```

パスワード入力しても画面上の変化は無いが、
認識はされているので入力後に「Enter」

※ スペルミスに注意!!

「 [root@localhost ~]# 」

と出てくればログイン成功

7・ネットワークの接続

```
[root@localhost ~]# nmcli d
DEVICE  TYPE      STATE      CONNECTION
enp0s3  ethernet  disconnected --
lo       loopback  unmanaged  --
[root@localhost ~]#
```

「nmcli d」と入力して接続を確認

まだ未接続

「nmcli connection up enp0s3」で接続

```
[root@localhost ~]# nmcli connection up enp0s3
Connection successfully activated (D-Bus active path: /org/freedesktop/NetworkManager/ActiveConnection/1)
[root@localhost ~]#
```

```
[root@localhost ~]# nmcli d
DEVICE  TYPE      STATE      CONNECTION
enp0s3  ethernet  connected  enp0s3
lo       loopback  unmanaged  --
[root@localhost ~]#
```

もう一度「nmcli d」で確認

接続されている

これだけだと起動のたびに接続しなければならないので、自動的に接続するように設定する

「nmcli con mod enp0s3 connection.autoconnect "yes"」

```
[root@localhost ~]# nmcli con mod enp0s3 connection.autoconnect "yes"
[root@localhost ~]#
```

特に反応はないが、再起動時に自動的に接続するようになっている

8・確認のため、どこでも良いのでネットページにアクセスしてみる（今回はグーグルトップ）

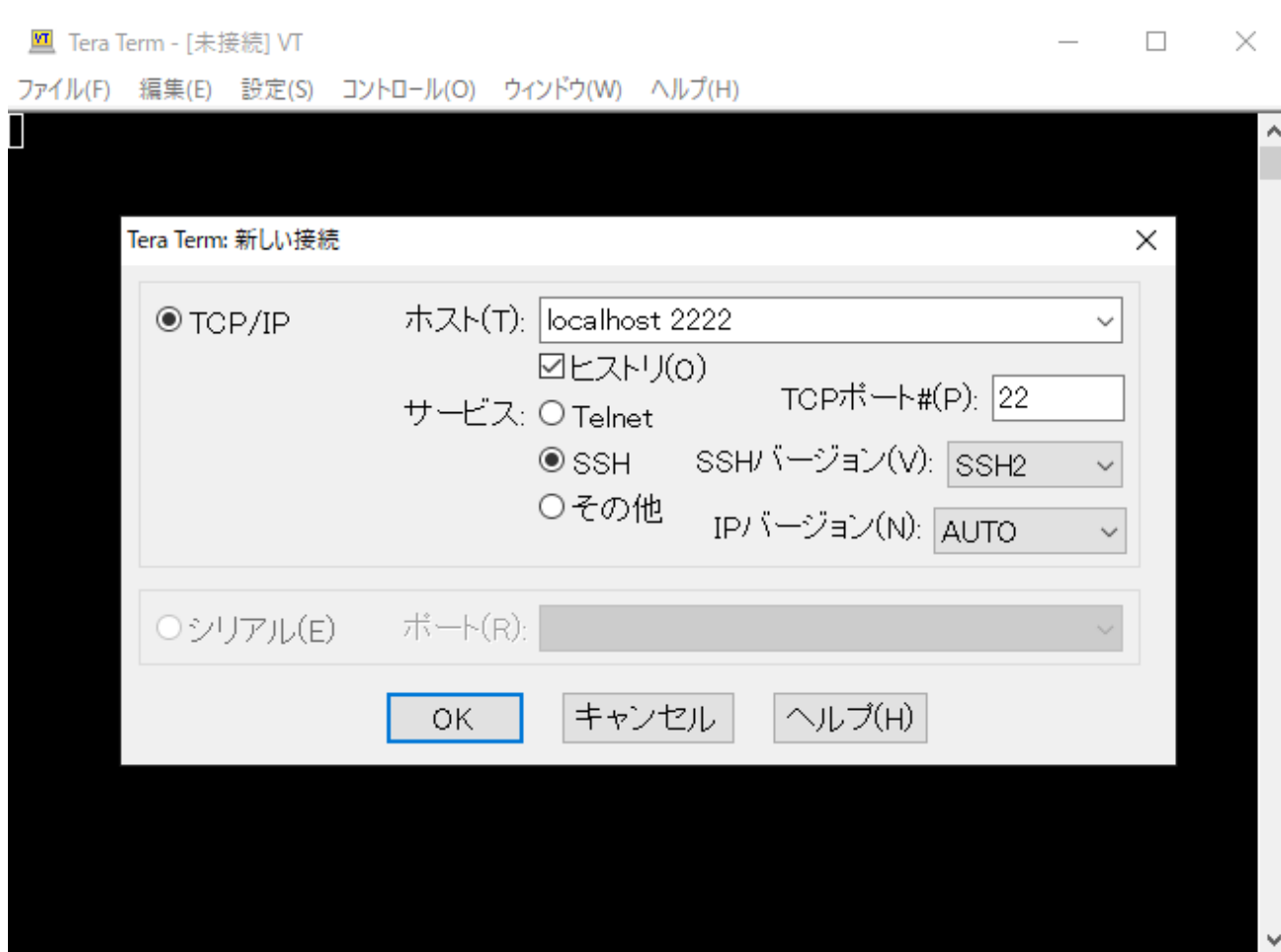
「curl google.com」

```
[root@localhost ~]# curl google.com
<HTML><HEAD><meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=utf-8">
<TITLE>301 Moved</TITLE></HEAD><BODY>
<H1>301 Moved</H1>
The document has moved
<A HREF="http://www.google.com/">here</A>.
</BODY></HTML>
[root@localhost ~]#
```

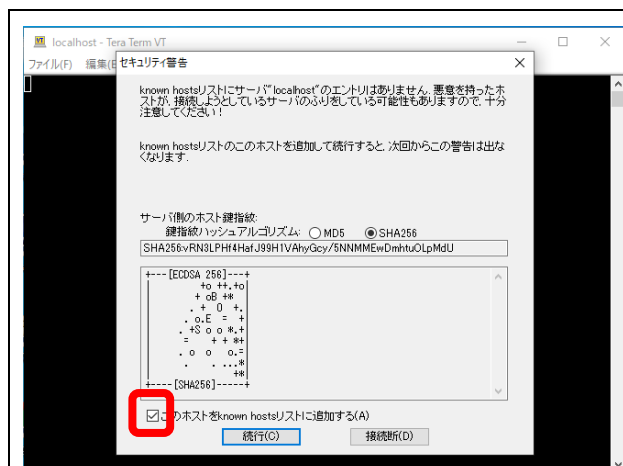
html が返ってくれば、ネットに繋がっていることが確認できた。

2. TeraTerm で VM にアクセスする

1・TeraTerm を起動して、新しい接続を下図のように指定して「OK」を押す

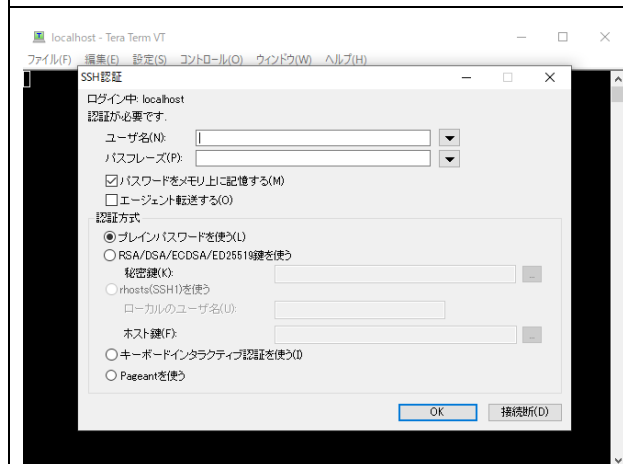


2・VM へログイン



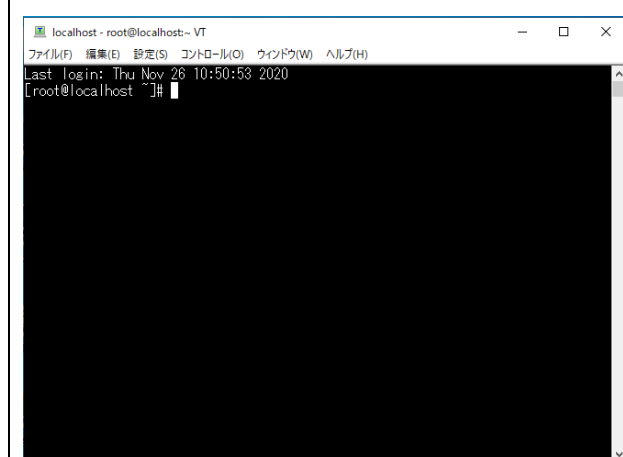
セキュリティ警告がでる

次回から表示されないように、
チェックボックスをチェックして続行



SSH 認証が表示されれば接続成功

VM に設定した
ユーザー、パスワードを入力して
「OK」でログインする



ログインに成功すると、
VM をホスト側から操作できる

Creation Date 2020 12